

重症度	初期治療	軽症	中等症		重症・最重症	
病型			くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする充全型	くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする充全型
治療	<p>①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD<sub>2</sub>・TXA<sub>2</sub>薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬</p> <p>くしゃみ、鼻漏型には①、②、⑥。 鼻閉型または鼻閉を主とする充全型には③、④、⑤、⑥のいずれか1つ。</p>	<p>①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD<sub>2</sub>・TXA<sub>2</sub>薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬</p> <p>①～⑥のいずれか1つ。 ①～⑤で治療を開始したときは必要に応じて⑥を追加。</p>	<p>第2世代抗ヒスタミン薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬</p>	<p>抗LTs薬または抗PGD<sub>2</sub>・TXA<sub>2</sub>薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬 もしくは 第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤 + 鼻噴霧用ステロイド薬</p>	<p>鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬</p>	<p>鼻噴霧用ステロイド薬 + 抗LTs薬または抗PGD<sub>2</sub>・TXA<sub>2</sub>薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬 もしくは 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤</p> <p>必要に応じて点鼻用血管収縮薬を1～2週間に限って用いる。 症状が特に強い症例では経口ステロイド薬を4～7日間処方する。</p>
				点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬		点眼用抗ヒスタミン薬、遊離抑制薬またはステロイド薬 鼻閉型で鼻腔形態異常を伴う症例では手術
アレルギー免疫療法						
抗原除去・回避						

初期療法は本格的な花粉飛散期の導入のためなので、よほど花粉飛散の少ない年以外は重症度に応じて季節中の治療に早めに切り替える。  
遊離抑制薬：ケミカルメディエーター遊離抑制薬。抗LTs薬：抗ロイコトリエン薬。抗PGD<sub>2</sub>・TXA<sub>2</sub>薬：抗プロスタグランジンD<sub>2</sub>・トロンボキサシンA<sub>2</sub>薬。

鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版(改訂第8版)より